

## 学級ドラマづくり

〈見つめよう 自分とクラスを

(4年1組生活白書)〉

対象学年 小学校4～6年

時間数 15時間



糸岡清一  
神奈川県横浜市立菅田小学校

### 使用ソフト&ハード

Adobe Premiere  
デジタルビデオカメラ2台  
音声録音用マイク

### 身についたこと

自分たちの行動や発言を振り返り、他人の目から自分を見つめることができるようになった  
シナリオを練り直したり、撮影現場での演技の工夫を行うことで表現力が向上した  
映像表現における編集技術(映像のカット、テロップ挿入、場面転換効果)を習得した

### 実践概要

「4年1組ってどんなクラス?」「みんなが何でも言い合える居心地のいいクラス?」「今、いやな思いをしている人はいない?」「そのなかで君は何を感じているの?」等々の呼びかけからはじまった実践。クラスが抱えていた(抱えている)問題を、「学級ドラマ」として制作することを通し、学級のあり方を見つめ直した。クラスでの身近な事件や問題からシナリオを考えて、実際に子どもたちが演技・撮影・編集する。最後に、完成した映像を見ながら今後の学級や友人関係のあり方などを話し合う。

### 活動の流れ

## 1 学級の友だち関係について話し合う

一般の学級会での話し合いと同じように進める。ここでは、まだ映像でドラマ化することは意識させなくてもかまわない。



できればこの時点で未解決の問題をピックアップし、どうすれば解決につながるかを話し合わせます。ドラマ化した時に尻切れにならないよう、ドラマの最終場面まで考える必要があります。

## 2 典型的な事例をもとにシナリオを書く

グループごとにシナリオを書く。1つの映像作品には1つのテーマのみを扱うように絞り込む。大体の流れが決まったら、撮影する場所やセリフを考える。



作品をクラスで1つに絞る場合は、学級内でシナリオ発表会をして選びます。一人の教員が対処できるのはせいぜい1本なのですが、T.Tで取り組む場合は、2本同時制作でも可能だと思います。

## 3 撮影(学級内や校舎外などによるロケ)

撮影担当には、ビデオカメラや三脚の使い方、カメラワークの練習など、事前に撮影テクニックを指導する。演技する子どもたちには、セリフを練習させておく。その後、台本に沿って撮影を進める。



各役割をきちんと決めておく必要があります。実際の撮影現場で決めると採め事になり、撮影時間が間延びして集中しなくなります。また、後で他の学級や保護者の方々にも公開したいので、棒読みにならないように、ある程度は演技指導も必要です。

## 4 編集(コンピュータによるノンリニア編集)

何度もやり直しができるコンピュータの利点を生かし、話し合いを重視しながら、映像のカット、テロップの挿入、場面の転換効果をうまく組み合わせる。



映像のキャプチャーが困難なので、指導者側が事前に行ってもいいでしょう。また、タイムラインによる編集は小学生には理解しづらいので、写真を並べてスライドのように扱える「ストーリーボード」機能を使うといいでしょう。

## 5 完成した作品を上映し、話し合いを行う

完成作品を見て、今後の学級や友人関係のあり方を話し合う。また、学級外の方々にも視聴してもらい、評価や意見などをもらう。



外部評価を受け、作品の改善ができれば理想です。シナリオの練り直しや映像の撮り直しまでは困難でも、編集段階の修正は少人数ですぐにできるはず。

## Information

夏休み親子『わいわいチャレンジ』  
連画(れんが):絵のリレー  
を体験

(財)才能開発教育研究財団主催の「夏休み親子『わいわいチャレンジ』」で、D-projectの『連画(れんが):絵のリレー』に親子でチャレンジしませんか。併せて「痛快パズルに挑戦」も行いますので、知恵と感性を同時に刺激して、暑さで眠っている頭を呼びさまそう!

日時: 8月17日(日) 14:30~17:00  
会場: 品川区立総合区民会館「きゅりあん」(大井町駅前)  
定員: 先着60組の親子

小学生とおとな(高校生以上)の組でご参加ください。「おとな1人と小学生1人」「おとな2人と、小学生1人、中学生1人」といった組み合わせもOKです。小学生だけの参加はできません。

参加費: 無料  
詳細は<http://www.sainou.or.jp/waiwai/>  
お問い合わせは、電話03-5437-5601  
担当 井手(いで) 市川、清水まで



映像作品の一部のショットを並べてみました。ここに掲載したショットは、「知らない間にペンケースを捨てられた児童の話」ですが、次に「靴箱においてある靴を隠された話」が続きます。



タイトル画面



クラスメイトのペンケースを持ち出す



誰も見ていないことを確認して窓から捨てる



ペンケースがなくなっていることで大騒ぎ。無くなった本人は落ち込む



女子から疑われる男子児童



窓下に捨てられているペンケースを発見

物語は  
まだまだ続きます...

### 制作風景



映像編集の様子



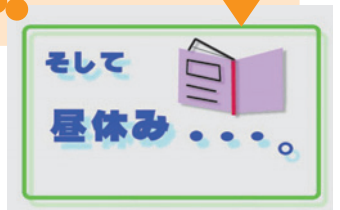
教室での撮影風景



校内での撮影風景



撮影してきた映像を確認



## 「映像で表現できる力」から「情報を批判的に捉える力」へ

系岡先生は、事前にコンピュータの得意な子どもたちを集めた「編集グループ」を結成して、ビデオカメラや編集ソフトの使い方指導しています。「小学生に映像制作や編集は無理だろう」という我々の既存概念を破り、子どもたちの可能性をうまく引き出した実践です。

この菅田小学校の高学年では、「修学旅行レポート」を映像でまとめたり、地域の祭りをPRするビデオの作成なども行っていますが、今後は「映像で表現する」ことが子どもたちの1つの伝達手段として定着していくでしょう。

子どもたちに限らず、我々大人でも、TVやインターネット

からの情報はすべて正しいと思い込み、メディアから流される情報を鵜呑みにしてしまう傾向にあります。映像は人の手によって作られるのですから、その制作者の意図が反映されており、100%事実のみを伝えているものでは決してありません。しかし、これを実感するためには、自らが情報の発信者・映像の制作者の立場となってみないとわかりません。自らが「発信」できるようになってはじめて「メディアから発信されている情報を批判的に捉える力」が身につけてきます。

この菅田小学校の子どもたちは既にその一歩を踏み出していると言えるでしょう。

Dproject 統括補佐  
豊田充崇  
和歌山大学教育学部附属  
教育実践総合センター



## IMETSフォーラム 2003で 情報教育研修会 を開催

(財) 才能開発教育研究財団 教育工学研究協議会主催のIMETSフォーラム2003に併せて、D-projectの実践に基づいた「小学校・中学校教員対象情報教育研修」が開催されます。受講無料ですので、奮ってご参加ください。

日時：8月19日(火) 10:00～16:30  
会場：品川区立総合区民会館「きゅりあん」(大井町駅前)

内容：1. 講義：画像編集ソフトやデジタルカメラを使った情報教育～D-projectの実践～  
2. ワークショップ：パンフレット制作を通じて情報活用の実践力を育てる  
定員：各コース50名(1. 2. の順で受講するコースと、2. 1. と受講するコースがあります)  
参加費：無料  
お問い合わせは、電話03-5437-5601 IMETSフォーラム事務局まで